

第6回

資料4

学区のあり方について

通学区域について

1 規則及びこれまでの考え方

- 県立高校について新川、富山、高岡、砺波の4つの学区を設けており、各校の通学を可能とする区域（すなわち通学区域）は、県教育委員会の定めた規則により、職業科など普通科以外の学科は全学区、普通科は居住する学区とその隣接学区としている。ただし、普通科の音楽と体育コースについては、申請により全学区からの志願を認めている。
- ①高校の配置バランスが配慮され、生徒の通学実態に即したものとなっていること
②通学区域による学校選択の制約は極めて少ない状況にあること、
上記①、②のことなどを理由に「現行制度を存続することが望ましい」としている

(県立学校整備のあり方等に関する報告書[H28. 4])



学区別の募集率推移と募集定員充足率

単位は%

年度	新川学区		富山学区		高岡学区		砺波学区		全県	
	募集率	充足率	募集率	充足率	募集率	充足率	募集率	充足率	募集率	充足率
H16	73.0	100.0	70.7	100.0	73.6	100.0	67.5	99.4	71.6	99.9
17	71.6	100.0	71.5	100.0	73.0	100.0	68.3	100.0	71.5	100.0
18	71.8	100.0	71.0	100.0	72.3	100.0	70.7	99.5	71.5	99.9
19	72.6	99.0	71.0	100.0	70.5	100.0	73.3	99.4	71.5	99.7
20	72.0	99.3	69.7	100.0	70.1	100.0	73.5	98.0	70.7	99.6
21	72.0	100.0	69.2	100.0	70.3	99.4	73.6	99.2	70.6	99.7
22	72.0	99.5	70.5	100.0	69.6	100.0	73.7	100.0	70.9	99.9
23	71.7	100.0	70.7	100.0	69.7	100.0	72.6	99.7	70.9	100.0
24	71.8	100.0	70.5	100.0	69.3	100.0	75.1	99.6	71.0	99.9
25	71.4	100.0	70.2	100.0	70.6	100.0	72.8	100.0	70.9	100.0
26	70.8	100.0	70.5	100.0	69.8	99.9	75.9	99.0	71.0	99.8
27	72.5	98.7	70.5	99.6	70.7	100.0	70.2	100.0	70.9	99.6
28	71.5	99.9	71.0	100.0	70.7	100.0	71.8	98.0	71.1	99.7
29	69.9	100.0	70.9	99.3	71.3	100.0	72.5	100.0	71.0	99.7
30	69.6	98.9	70.8	98.8	71.2	100.0	70.6	98.3	70.6	99.1
R元	71.4	97.7	70.9	98.9	70.6	100.0	71.6	98.3	71.0	98.9
2	70.8	97.3	71.5	98.2	71.6	99.7	73.3	99.5	71.6	98.6
3	72.2	94.0	71.7	98.0	71.8	99.8	69.9	97.9	71.6	97.8
4	71.1	94.3	71.4	97.7	72.5	98.2	70.7	95.7	71.6	97.0
5	70.0	-	70.6	-	71.3	-	70.9	-	70.7	-

※募集率：各学区または全県の中学校卒業予定者数に対する募集定員の割合 充足率：募集定員に対する入学者の割合

今後の県全体の学級数の見込み(公私比率70.8%)

	R4年度の在籍学年			
	年度	中3 R5年度	小1 R13年度	(1歳) R18年度
全 県	学級数	158	137	114
	(対R5年度)	基準	▲ 21	▲ 44
	平均学級数	4.6	4.0	3.4
新川 学区	学級数	29	24	20
	(対R5年度)	基準	▲ 5	▲ 9
	平均学級数	4.1	3.4	2.9
富山 学区	学級数	65	58	50
	(対R5年度)	基準	▲ 7	▲ 15
	平均学級数	5.4	4.8	4.2
高岡 学区	学級数	44	38	31
	(対R5年度)	基準	▲ 6	▲ 13
	平均学級数	4.4	3.8	3.1
砺波 学区	学級数	20	17	13
	(対R5年度)	基準	▲ 3	▲ 7
	平均学級数	4.0	3.4	2.6

※中卒予定者数をもとに、法律に基づく1学級40人を前提として、また、R5年度以降の公私比率を70.8%を仮定して、学級増減数を算定

※中卒予定者数の算出について、R5、R13年度は学校基本調査(R4年5月1日)を基にした生徒数。R18年度は県の人口移動調査(R3年10月1日)に基づく推定値

※平均学級数は、学校数を34校で維持した場合の見込み

通学区域について

○通学区域の設定

項目	件数		項目	件数
設定している	21	今後の検討予定の有無 →	ある	9
設定していない	26		なし	12

○通学区域を設定している都道府県のうち：

項目	件数
①普通科は居住する学区、その他の学科は全学区としている	10
②普通科は居住する学区とその隣接学区、その他の学科は全学区としている	3
③普通科と普通系学科は居住する学区、その他の学科は全学区としている	2
④普通科と普通系学科は居住する学区とその隣接学区、その他の学科は全学区としている	1
⑤普通科と総合学科は居住する学区、その他の学科は全学区としている	1
⑥普通科は居住する学区、普通科以外の普通系学科は居住する学区よりも広範囲の学区、その他の学科は全学区としている	1
⑦普通科は原則として、居住する学区としている	1
⑧普通科は地域によって、一部制限をかけているところがある（基本的には全県一区）	1
⑨無回答	1

全県 1 区の学科・コースの本県の実態

○隣接学区を越えた入学状況

	富山・新川 →砺波	砺波 →富山	新川 →高岡	高岡・砺波 →新川	合計
R 4	0	7	10	2	19
R 3	0	10	5	1	16
R 2	0	12	7	2	21

※数字は普通科以外の学科（普通科音楽コース、体育コースを含む）の人数

市町村別中学校・義務教育学校卒業生の進学先割合(直近3年平均)

単位:%

高校所在 中学校・義務教育学校所在地			新川学区					富山学区	高岡学区			砺波学区			その他	合計	
			入善町	黒部市	魚津市	滑川市	上市町	立山町	富山市	射水市	高岡市	氷見市	砺波市	南砺市			小矢部市
			1校	1校	2校	1校	1校	1校	12校	3校	6校	1校	2校	2校	1校		
新川学区	朝日町	1校	37	11	18	2			5	2						25	100
	入善町	2校	35	15	18	2	1		7							22	100
	黒部市	2校	13	24	27	4	1		9							23	100
	魚津市	2校	10	13	22	12	3		8							31	100
	滑川市	2校	2	5	14	24	11	1	21							21	100
	上市町	1校		1	8	12	18	6	25							30	100
	立山町	1校			1	6	10	16	34							32	100
	舟橋村	1校			1	8	8	8	44							31	100
富山学区	富山市	29校				1	1	3	58	1	1					36	100
高岡学区	射水市	6校							17	25	24	1	1		1	30	100
	高岡市	12校							1	12	42	5	4	2	6	27	100
	氷見市	5校							1	1	29	44				25	100
砺波学区	砺波市	4校							1	1	21		27	21	6	23	100
	南砺市	8校							1	1	18		25	31	2	23	100
	小矢部市	4校							1	2	27		16	11	20	23	100

※「その他」: 県立定時制・通信制高校、高専、私立高校、就職など